

小学校3年生・4年生向け

約束をすること、
守ること



約束をすること、 守ること

第1 概要



▶ 1 新学習指導要領における位置づけ

新学習指導要領の「第6章 特別活動」「第2 各活動・学校行事の目標及び内容」〔学級活動〕「2 内容」〔第5学年及び第6学年〕〔共通事項〕「(2) 日常の生活や学習への適応及び健康安全」「ウ 望ましい人間関係の形成」

▶ 2 単元設定の趣旨

子どもたちの間では、ものの貸し借りをめぐる問題が多く起きている。借りる側の問題点としては、①借りたものを大切にしようという意識が希薄である、②期限などの約束を守ろうとする意識が低い、といったことがあげられる。さらに、③人間関係や力関係で自分のほうが優位に立っているという意識が働くと、①や②につながりやすい傾向がある。一方、貸す側の問題点としては、①約束をはっきりしない(できない)で貸してしまう、②断り切れず貸していることがあげられる。

こうした児童の実態を踏まえると、例えば、約束をすることもしないことも自由であること、約束は原則として守らなければならないこと、約束を守らないと相手に迷惑がかかることなどについて、実感として理解させることが重要である。

また、こうした学習を通じて、契約に関わることなく社会生活を営むことはできないことについて気づかせる。

▶ 3 単元目標

「約束をすること、守ること」の意義について改めて考えさせる。

第2 指導計画

2部構成・2時間
(1部構成とし、1時間とすることも可能)

第1時

約束をすること、守ること

特別活動

本時のねらい

約束についての関心を高め、「約束をすること、約束を守ること」について考えさせる。

【留意点】

〔学級活動〕〔2 内容〕〔共通事項〕〔(2) 日常生活や学習への適応及び健康安全〕では、集団での話し合いを通して、個人の目標を自己決定し、個人で実践する児童の自主的、実践的な活動の特質としている。したがって、これらの特質を踏まえた話し合い等の活動過程を大切にしていく。

	学習活動	指導上の留意点・資料	目指す児童の姿・評価方法
事前の指導	● 題材を知る。 「約束をすること、守ること」自己の体験・経験について、アンケート(参考資料(児童用))に答え、振り返っておく。	● 道徳 役割・責任 「身近な集団に進んで参加し、自分の役割を自覚し、協力して主体的に責任を果たす」と関連させて指導する。 ● 「約束」についての様々な体験を掘り起こす。	● 「約束をすること、守ること」について、自分の体験を振り返っている。 (関心・意欲・態度) 〔アンケート調査〕
本時の活動	● 物の貸し借りをめぐるトラブルの事例をもとに、約束を守ることの責任について自分なりの考えをまとめる。	● 自己の体験を振り返りながら、貸す側、借りる側の問題点を整理し、「約束をすること」について考える。 ● 人と約束をする時に、どのようなことを心がけていくのか、自分の考えをまとめる。 ● 資料(事前アンケート結果)(参考資料(教師用))	● 資料1及び資料2の問題点から約束を守る責任の考え方をつかませる。 ● 約束をしないという方法もあることに気付かせる。 ● 約束は契約ともいうようにふれる。
	● 実社会における貸し借りについて知り、貸し借りのよさや返すということについて自分なりの考えをまとめる。	● 返すという約束を守ること貸す側、借りる側の双方がメリットを受けられることを気づかせる。 ● 契約自由の原則の考え方を振り返らせる。	
事後の指導	● 約束をすること、守ることについて考えたことを受けて、約束について決めたことを努力する。 ● 日々の自己の成長を振り返る中で、さらなる課題意識をもつ。	● 学級全体で頑張りを確かめ合い、お互いのよさを指摘できるようにする。 ● 約束を守ることについて苦手意識のある子どもには、自分の生活を定期的に振り返らせ、確実に自分が決めたことを実行できるようにする。	● 自分の決めたことについて粘り強く努力をしている。 (思考・判断・実践)

	学習内容	学習活動 発問(教師=T), 予想される発言例(児童=C)	指導上の 留意点	資料等
導入	①「ものの貸し借りをめぐりトラブル」	●授業の前に ➔ 参考資料(児童用)を児童に配布し、アンケートをとる。 ●アンケートの集計から、ものの貸し借りをめぐりトラブルがあることに気づく。 T:「アンケートからどんなことがわかるかな」 C:「クラスの半分以上がトラブルにあってる」 C:「身近なものの貸し借りからトラブルがおこっている」 C:「なかなか返してくれない人がある」 C:「借りた人は、ものの扱いがひどい」 T:「今日は、貸し借りのことから、約束について考えよう」	・事前にアンケート調査を行う	参考資料 教師用 参考資料 児童用
	 「約束をすること、守ること」とは どういうことか。			
展開	②「約束をすること」 * 約束(契約)をするしない、またその内容は、当事者が自由に決められる。(約束の自由)	➔ 児童に資料1及びワークシート1を配布する。 ●資料1(できごと・その1)から、貸す側、借りる側の問題点を整理し、「約束をすること」について考える。 ➔ 児童にワークシート1の①へ記入させ、発表させる。 T:「資料1(できごと・その1)では、誰のどんなところがいけなかったかな」 C:「Bさんが、すぐ返さなかった」 C:「Bさんが、無理矢理借りた」 C:「AさんもBさんも、いつまでという期限に関する約束をしなかった」 C:「Aさんの態度がはっきりしていなかった。断れば良かった」	・貸す側、借りる側の双方の問題点を児童から出させて、そこから約束の自由の考え方をつかませる。 ・Bさんが返さなければならぬのは当然であるが、そこにとどまることなく、双方の問題点を引き出す。	資料1 ワークシート1

	学習内容	学習活動 発問(教師=T), 予想される発言例(児童=C)	指導上の 留意点	資料等
展開	③「約束を守る こと」 * 人との約束 は、守る責 任がある。 (約束を守る 責任)	●「約束をすること」について知る。 → 児童にワークシート1の②へ記入させ、発表させる。 T:「資料1(できごと・その1)の場合、どうすればトラブルにならなかったかな」 C:「約束をはっきりとすることが大切」 C:「約束の内容をはっきりさせる」 C:「いやだったら約束はしない」 ●資料2(できごと・その2)の問題点から、「約束を守ること」について考える。 → 児童に資料2を配布する。 → 児童にワークシート1の③へ記入させ、発表させる。 T:「資料2の場合、ゲームソフトを返すべきかな。それとも返さなくてもよいかな」 C:「もともと、Aさんのものなのだから、約束がしてあったとしてもすぐに返すべきだと思う」 C:「約束は約束なのだから、Bさんは5日間使っていていいと思う」	・Aさんが「いやだから貸したくない」と言ってよいことに触れる。 ・資料2の問題点から約束を守る責任の考え方をつかませる。 ・約束をしないという方法もあることに気付かせる。 ・約束は契約ともいうということにふれる。	資料2
まとめ	④「あらためて約束をとらえなおす」	●今後、人と約束をする時にどのようなことを心がけていくのか、自分の考えをまとめる。 → 児童にワークシート1の④へ記入させ、発表させる。	・トラブルがこじれてしまった時はどうしたらよいかについて、状況に応じて教師から話す。	ワークシート1





アンケート集計結果 (小学校6年生; 1クラス28人) 〈例〉

1

ものを貸したり借りたりすることをめぐって、トラブルになったり、いやな思いをしたことはありませんか？

ある 15人

ない 13人

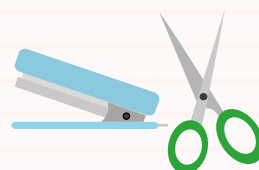
2

「何を」貸したり借りたりする時でしたか。

*数字はのべ人数

- ①本 (小説, マンガ) ……8
- ③ゲームソフト (ゲームカセット) ……4
- ⑤CD ……1
- ⑦教科書 ……2
- ⑨消しゴム ……1
- ⑪ノート ……1

- ②ゲーム機 ……5
- ④カード ……1
- ⑥ペン ……2
- ⑧のり ……2
- ⑩えんぴつ ……1
- ⑫絵の具 ……1



3

どんなトラブルでしたか。

①本 (小説, マンガ)

- ・よごされた
- ・おられた, やぶられた
- ・線をひかれた, しるしをつけられた, 落書きされた
- ・また貸しされていたかもしれない
- ・2か月くらい返ってこなかった, しつこく返してと言って返してもらった
- ・1週間以上たっても返ってこない
- ・なくされた……2

②ゲーム

- ・なくされる……3
- ・なくなったと思ったら違う友だちが持っていた

③ゲームソフト (ゲームカセット)

- ・約束の日がすぎても返そうとしない
- ・期限を守らなかった
- ・なくした

④カード

- ・なくされた

⑤CD

- ・なくされる

⑥ペン

- ・ペン先をつぶされた

⑦教科書

- ・かってにしるしをつけられた
- ・おられた

⑧のり

- ・こわされた
- ・全部つかわれた

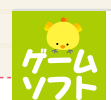
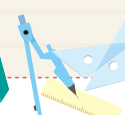




ものを貸したり借りたりすることをめぐって、 トラブルになったり、いやな思いを したことはありませんか？



1 「何を」貸したり借りたりする時でしたか。



2 どんなトラブルでしたか。



ねん
年

くみ
組

ばん
番

なまえ
名前 ()



「約束をすること, 守ること」

① **資料1(できごと・その1)** から考えよう。



か 借る側 (Bさん) のよくないところ



か 貸す側 (Aさん) のよくないところ



② どうすればトラブルにならなかったのでしょうか？

③ **資料2(できごと・その2)** から考えよう。

- Bさんは、3日でゲームソフトを { 返したほうがよい ・ 返さなくてよい } と思う。
- それは、なぜですか？

④ 約束をする時、これから気をつけたいことを書こう。

できごと・その1 ゲームソフト①

ある日, Aさんの家にBさんが遊びに来ました。



Bさん おもしろそうだね。そのゲームソフト^か貸してよ。



Aさん え〜, まだ買ったばかりだし, あんまり使^{つか}ってないんだよなあ。



Bさん いいから貸^かしてよ。



Aさん でも〜。



Bさん 少し^{すこ}だけでいいからさあ〜。



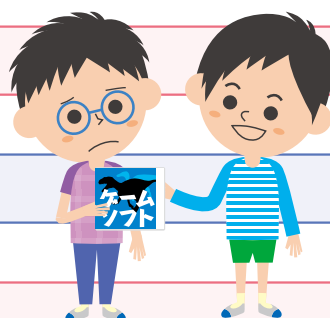
Aさん ……。



Bさん じゃあね。

(ゲームソフトをしばらくBさんに^{わた}渡す。)

(Bさん, ゲームソフトを持^もって, 家^{いえ}に帰^{かえ}る。)



すうじつご
数日後



Aさん ゲームソフト, どうだった?



Bさん いやあ, あのゲームおもしろいなあ。
もう少し^{すこ}貸^かしてよ。いいだろう。



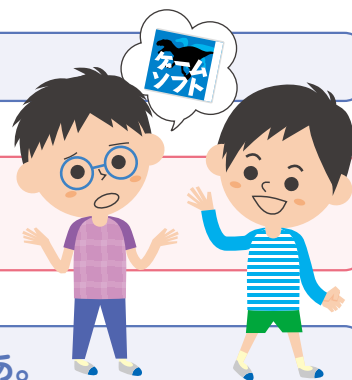
Aさん でも, そろそろ返^{かえ}してほしいんだけどなあ。



Bさん もう少し^{すこ}だけ使^{つか}わせてよ。いいだろう。



Aさん ……。



できごと・その2 ゲームソフト②

ある日、Aさんの家にBさんが遊びに来ました。



Bさん

おもしろそうだね。そのゲームソフト貸してよ。



Aさん

いいよ。いつまで？



Bさん

1週間貸してくれる？



Aさん

う〜ん、少し長いなあ。5日間はどう？



Bさん

うん、いいよ。



Aさん

わかった、じゃあ、5日間ね。

いつか
5日



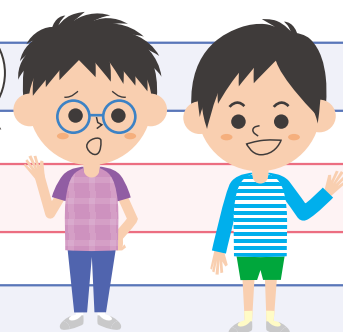
Bさん

必ず、返すね。



Aさん

うん。約束だよ。



3日後、学校で



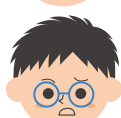
Aさん

ゲームソフト、どうだった？おもしろかった？



Bさん

いやあ、あのゲームおもしろいな。まだ、借りていていいんだよね。



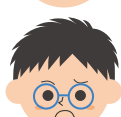
Aさん

・・・実は、急にあのゲームをやりたいなくなっちゃってさあ。すぐ、返してほしいんだけど、いい？



Bさん

え〜。でも、5日間、貸してくれるって、約束したじゃない。



Aさん

でも、ぼくのゲームだろう。返してくれよ。

第2時

貸し借り

特別活動

本時のねらい

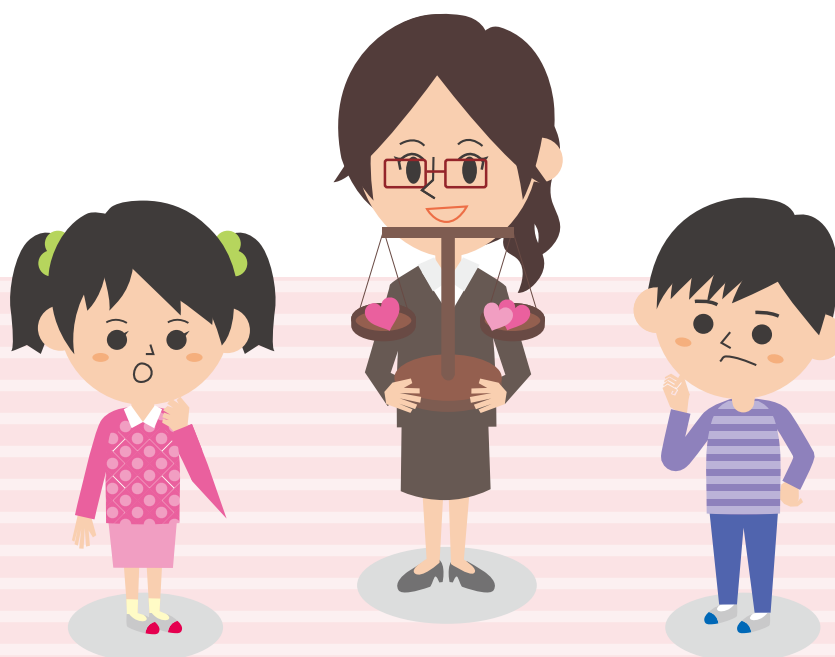
「貸し借り」について考えさせ、「約束をすること、守ること」についての理解を深める。



	学習内容	学習活動 発問(教師=T), 予想される発言例(児童=C)	指導上の留意点	資料等
導入	① 実社会の中の貸し借り	● 実社会の中の貸し借りにはどんなものがあるか考えさせる。 → 児童にワークシート2を配布し、ワークシート2の①へ記入させ、発表させる。 T: 「世の中のレンタル〇〇や貸し借りには、どんなものがあるだろうか」 C: 「レンタルCD, レンタルDVD, レンタカー, レンタサイクル, 駐車場, 駐輪場, レンタルの衣装, アパートなど」 「貸し借り」について考えよう。	・自分たちが生活している社会に多くの貸し借りが存在していることに気づかせる。	ワークシート2
展開	② 貸し借りのよさ	● どうして貸し借りをするのかを考える。 T: 「どうして、世の中にはこんなにたくさんのレンタル〇〇や貸し借りがあるのだろう」 → 児童にワークシート2の②へ記入させ、発表させる。 C: 「便利だから」 C: 「出せる範囲のお金で、いろいろなものが借りられるから」 C: 「人はほしいものすべてを買うことができるわけではないから」	・貸す側, 借りる側の双方の立場から考えさせる。	ワークシート2

	学習内容	学習活動 発問(教師=T), 予想される発言例(児童=C)	指導上の 留意点	資料等
展開	③ 返すということ	T: 「この間のアンケートでは, 本の貸し借りをめぐっていやな思いをしている人が多く見られる。それでは, 本の貸し借りのプラス面はないのだろうか。貸し借りのよさとは何だろうか」 C: 「自分で買わずに読める」 C: 「楽しさを共有できる」 C: 「いいものを友達に知ってもらうことができる」 T: 「学校の図書室でも本は借りられるが, 図書室のよさは何だろうか」 C: 「たくさんの中から選べる」 C: 「個人では, たくさん買うことができない」 C: 「学校の立場に立ってみると, 子どもたちの知識がふえる」 ● 期限を守らないこと(返さないこと)の影響を考える。 T: 「アンケートや発表から, 返す期限を守らないことが多いようだが, 期限に返さないとどんな迷惑がかかるのか考えてみよう」  児童にワークシート2の③④へ記入させ, 発表させる C: 「持ち主に迷惑がかかる」 C: 「図書室では, 次に借りたい人に迷惑がかかる」 T: 「もし, レンタカーを借りて返さなかったら誰に迷惑がかかるかな」 C: 「まず, それを貸している人(所有者)」 C: 「次に借りたい人に迷惑がかかる」 C: 「しかも, 延滞料金を払わなければならない」	・返すという約束を守ることによって貸す側, 借りる側の双方がメリットを受けられることを気づかせる。 ・契約自由の原則の考え方を振り返らせる。	

	学習内容	学習活動 発問(教師=T), 予想される発言例(児童=C)	指導上の 留意点	資料等
展開		T: 「もし, 返さない人が増えたらどうなるのか」 C: 「誰も貸さなくなる」 C: 「貸し借りがなくなる」		
まとめ	④ 貸し借りについて	● 「貸し借り」について今後気をつけたいことをまとめる。 → 児童にワークシート2の⑤へ記入させ, 発表させる。		ワークシート2



ねん
年

くみ
組

ばん
番

なまえ
名前

(

)

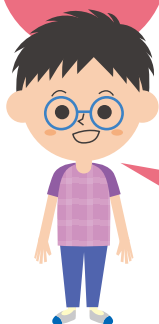


「貸し借り」

① 世の中で貸し借りされているものにはどんなものがありますか。

Blank area for writing answers to question 1.

か がわ
貸す側



② 「貸し借り」にはどんなよい面があるのだろうか。



か がわ
借りる側



Blank area for writing answers to question 2 (left side).

Blank area for writing answers to question 2 (right side).

③ もし、期限を守らなかったら、だれにどんな迷惑がかかるのだろう。



Blank area for writing answers to question 3.

④ もし、返さない人が増えたらどうなるのか。



Blank area for writing answers to question 4.

⑤ 貸し借りをするときに気をつけること。



Blank area for writing answers to question 5.